

平成29年度東京都自立支援協議会 活動計画(案)

資料5

第5期テーマ(平成29年度～平成30年度)

都と地域の協議会活動の双方向性を強化し、東京都における地域課題を考える

平成29年度協議事項

東京の協議会活動がさらに機能するために何が必要か

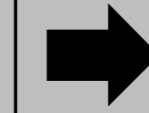
平成29年度活動計画

東京都自立支援協議会

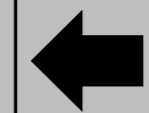
協議事項に基づく検討

- ≪第1回本会議(5/15(月))≫
- 第5期都協議会活動方針
 - 平成29年度活動計画
 - 地域自立支援協議会実践報告 など
- 協議事項に基づくグループ討議

企画等



報告・共有



- ≪第2回本会議(2月予定)≫
- 平成29年度活動報告
 - 平成30年度協議事項の選定 など
- 協議事項に基づくグループ討議

地域協議会の情報把握・共有

《地域自立支援協議会交流会(8/18(金))》 (会場:東京都社会福祉保健医療研修センター)

- 【目的】
- 地域自立支援協議会関係者の交流の場を設定し、協議会の活動状況等に関する情報交換を実施することにより、地域協議会の円滑な運営や活動の活性化を図る。
 - 都協議会として、地域協議会の活動状況についての状況把握を図る。
- 【対象者】
都内地域自立支援協議会関係者
(全体会委員、専門部会委員、事務局職員、区市町村所管課職員等)
- 【スケジュール及び実施方法】
- <5月～6月 企画検討>
年間テーマに沿った討議テーマや話題提供者の選定
- <7月上旬 事前調査>
参加申込みと合わせて、参加予定者にテーマに関する協議会の活動・成果物や区市町村の取組のアンケート調査に回答をもらう。
⇒ 事務局で取りまとめ、当日のグループ討議の参考資料として配布
- <当日>
- (1) 話題提供
・ 地域協議会委員等から テーマに関する地域での実践例を報告してもらう。
 - (2) グループ討議
・ 希望テーマごとに少人数グループ(6～7名程度)を編成
・ 参加者が事前調査の回答や協議会の成果物等をもとに、地域の状況や課題、取組等を紹介し、意見交換を行う。
・ 協議会委員は、グループを行き来しながら討議内容の把握及び必要に応じ助言を行う。
 - (3) 討議のまとめ
・ 全参加者が一堂に会する場で、協議会委員が、討議の内容を紹介し、情報共有を図る
・ 会長からまとめのコメントをもらう。

東京の協議会活動の普及啓発

《東京都自立支援協議会セミナー(12/8(金))》 (会場:都庁第一本庁舎大会議場)

- 【目的】
障害者総合支援法における相談支援体制等、東京における共通課題や取組、協議会活動の活性化策などについて、都協議会本会議の検討等を踏まえた講演及びシンポジウムを実施することにより、広く関係者への情報発信を行う。
- 【対象者】
- 地域自立支援協議会委員、事務局等関係者
 - 区市町村職員(障害福祉主管課・福祉事務所・保健所等)
 - 相談支援事業所、サービス事業所等職員・障害当事者、家族等
 - その他障害者支援に携わる者(民生委員・児童委員、成年後見人、ボランティア等)
 - 一般都民
 - その他(近隣自治体関係者等)
- 【内容】
- 基調講演
 - シンポジウム等

29年度協議事項を反映



地域協議会の情報共有・発信

- 《「東京都内の地域自立支援協議会の動向」発行》
- 各地域の自立支援協議会活動状況等について冊子にまとめ、協議会関係者に配布
 - 平成29年度の協議事項に関する項目を追加
<28年度版> 平成29年7月頃発行
<29年度版> 平成30年7月頃発行予定

地域協議会(区市町村、相談支援事業所、障害福祉サービス事業所等の関係者)